

岩津ねぎだより

号外

令和元年9月25日
岩津ねぎ産地協議会
生産支援チーム

台風17号の通過に伴い、岩津ねぎは大半のほ場で葉折れや倒伏、株元が断裂するなど、大きな被害が生じています。特に、土寄せ作業が遅れているほ場は、倒伏などの被害が拡大しました。

早急に、下記の作業を実施し、ねぎの回復促進を図り、品質の向上を目指しましょう。

1、倒伏などの被害程度に応じ対策を実施

今回の台風被害は、ほ場の場所や土寄せの程度により被害が異なります。

倒伏等の被害が大きなほ場は、株起こし等の作業を必ず実施して下さい。

襟首より下の部分から倒れた株は、起こさないで軟白部が曲がったままになり、製品に影響があります。

この場合は、株元に土を寄せて土手をつくり、倒伏した株を丁寧に手で起こして下さい。天候が回復したら、株元に土を寄せて下さい。



写真1 土寄せが十分され被害が少ないほ場



写真2 倒伏被害の大きなほ場



写真3 倒伏で株元が断裂した株

葉が折れて一定方向に倒れ、うねの上に覆い被さっている場合は、写真4のように倒伏した葉を適度に、草刈り機等で刈ると、株起こし作業等の効率的に実施できます。この時期に葉を刈っても新葉が出てきます。

また、倒伏した株を無理に起こすと、株元が折れ曲がり、断裂してしまいます。

被害が葉折れ程度なら、無理に株を起こさず、ねぎの回復を待つて、土寄せ作業を実施します。



写真4 倒伏した葉を刈った状態

2、農薬散布の実施

倒伏や葉折れ等により、病気にかかりやすい状態となっています。

今後、細菌性の病害を予防するためZボルドー（500倍）で防除します。

黒斑病が発生している場合は、ヨネポン水和剤（500倍）またはアミスター20フロアブル（2000倍）で防除します。散布量は2000/10aとし、たっぷり葉や株元に十分にかかるように散布します。

農薬散布時は、展着剤（アプローチBI、ワイドコートなど）は必ず使用しましょう。
農薬の使用基準表

薬剤名	適用病害虫	希釈倍率	使用時期	使用回数
Zボルドー	軟腐病、べと病	500倍	—	—
ヨネポン水和剤	黒斑病、さび病、べと病、軟腐病	500倍	収穫7日前まで	4回以内
アミスター20 フロアブル	黒斑病、さび病、べと病	2000倍	収穫3日前まで	4回以内

※ 農薬はラベルの使用基準・注意書をよく読んでご使用ください。

3、土寄せ・追肥作業の実施

今回の台風では、適期に土寄せを実施したほ場では被害が軽くなりました。

土寄せ作業が遅れているほ場は、天候の回復を待って早急に実施しましょう。

土寄せ作業は、M字土寄せが基本ですが、**成長点（裾首）が隠れない程度まで、株元へ十分に土を寄せ、**今後の倒伏防止に繋がります。

まだ、追肥を実施していないほ場は、土寄せ作業前に、生育状況に見て、**燐硝安加里 S604**を散布し、ねぎの回復を促進します。



写真5 株元への土寄せが不十分

4、排水対策の実施

今回の台風で、谷や排水溝に水が停滞している場合は、速やかな排水して下さい。

今後、台風や秋雨前線の影響から大雨懸念されますので、ほ場内の排水対策を徹底しましょう。

<問合せ窓口>

和田山営農生活センター：672-4800 山東営農生活センター：670-7744
朝来営農生活センター：670-4341 朝来農業改良普及センター：672-6886